

## I 重点的に取り組む主な項目の進捗状況

### 1 個別支援計画の充実

毎年度、各部門ともサービス管理責任者等を中心に上半期の個別支援計画の策定、モニタリング、下半期の個別支援計画の策定、モニタリングを繰り返し、個別支援計画が策定されます。出来上がったその計画に沿った支援に努めることが求められていますが、支援の目標を達成するための手段、具体的な方法・内容、効果判定の方法が曖昧で、個別支援計画を策定することが目的化され内容を伴っていないように見受けられます。そのため意識改革を含めた大きな見直しが必要となっています。

### 2 職員研修の充実

今年度の法人内研修は、感染症対策、新人職員、医療安全、摂食指導、腰痛対策、権利擁護、医薬品研修を実施し、延べ410名が受講しました。また、各事業運営の中核をなす主任のレベルアップを図ることを目的に主任の役割など主任研修を2日間にかけて実施しました。

外部で実施された研修には、延べ60名が参加し、県外での学会・研修には延べ20名が参加しました。

今年度、重点的に取り組む項目にも掲げている個別支援計画の作成に焦点を当てた研修は、実施できませんでしたので次年度は確実に実施することとしています。

### 3 権利擁護の推進

当法人の虐待防止マニュアルに基づき、権利擁護・虐待防止委員会を隔月に開催し、定期的に各セクションにおける権利擁護に関連する状況を確認しました。

また、職場環境の振り返りとして年間2回、障害者虐待防止「職員セルフチェック」を実施し、自分自身が利用者への対応、挨拶などしっかり実践されているかどうか、周りの職員はどうかなどのチェックを行いました。

また、職員対象に「障害者虐待防止・権利擁護」研修を開催し、権利擁護を担う職員の人権意識向上に向け取り組みました。

### 4 新規事業の取り組み

開成町に平成29年11月に開設した、地域支援センターひまわりでは、平成29年12月に足柄上地区1市5町の委託を受け、地域支援活動事業を開始しました。精神障害者、知的障害者など17名が登録し、様々な活動が始まっています。事務局として、普及啓発事業として南足柄市役所において平成30年2月21日～23日に開催した「ちいきふくし博」では、足柄上地区（1市5町）の福祉事業所（15事業所）の協力を得て、約400名の参加者がありました。

施設内の交流スペース開放によって、地区自治会、ひまわり訓練会OB会、開成町障害児者と家族の会など120名の利用がありました。

## Ⅱ 各部門別事業実施状況

### 法 人 事 務 等

#### 1 評議員の状況（平成 29 年度末現在）

評議員の氏名	職 業	評議員選任・解任 委員会決議年月日	任 期	他の法人・団体の役員等との兼職の状況
天野 隆博	太陽の門家族会会長	H29. 3. 3	H29. 4. 1～H33. 6	無
杉山 輝雄	無職	H29. 3. 3	H29. 4. 1～H33. 6	無
武田 伸六	行政書士	H29. 3. 3	H29. 4. 1～H33. 6	無
柴田 和生	足柄療護園事務局長	H29. 3. 3	H29. 4. 1～H33. 6	有（職業と同じ）
肥土 実	神奈川県重症心身障害児を守る会副会長	H29. 3. 3	H29. 4. 1～H33. 6	無
堀内 勇	（福）児童養護施設 福音寮 理事	H29. 3. 3	H29. 4. 1～H33. 6	有（職業と同じ）
牧野 賢一	（特非）UCHI 理事長	H29. 3. 3	H29. 4. 1～H33. 6	有（職業と同じ）

・年度中に退任した評議員（再任された者を除く） なし

・退任年月日 なし

#### 2 理事の状況（平成 29 年度末現在）

理事の氏名	・理事の役職 ・常勤、非常勤の別 ・職業	評議員会 決議年月日	任 期	他の法人・団体の役員等との兼職の状況
長根 直幸	理事長非常勤 無職	H29. 6. 16	H29. 6. 16～H31. 6	無
内田 恵之	業務執行理事 常勤 風祭の森 常務理事	H29. 6. 16	H29. 6. 16～H31. 6	無
大川 俊哉	理事 常勤 太陽の門 施設長	H29. 6. 16	H29. 6. 16～H31. 6	無
伊藤 崇博	理事 非常勤 （福）常成福祉会丹沢 ジデンシャルホーム施設長	H29. 6. 16	H29. 6. 16～H31. 6	有（職業と同じ）

飯田 美枝子	理事 非常勤 無職	H29. 6. 16	H29. 6. 16~H31. 6	無
篠崎 登	理事 非常勤 (医)三成会 新百合ヶ 丘総合病院 乳腺・内分 泌外科部長	H29. 6. 16	H29. 6. 16~H31. 6	有（職業と同じ）

- ・年度中に退任した理事（再任された者を除く） なし
- ・退任年月日 なし

### 3 監事の状況（平成 29 年度末現在）

監事の氏名	職 業	評議員会 決議年月日	任 期	他の法人・団体の役 員等との兼職 状況
岡崎 良信	無職	H29. 6. 16	H29. 6. 16~H31. 6	無
山田 豊	税理士	H29. 6. 16	H29. 6. 16~H31. 6	有（職業と同じ）

- ・年度中に退任した監事（再任された者を除く） なし
- ・退任年月日 なし

### 4 評議員選任・解任委員会委員の状況（平成 29 年度末現在）

委員の氏名	職 業	理事会 決議年月日	任 期
渡辺 貞	無職	H29. 6. 16	H29. 6. 16~H31. 6
岡崎 良信	無職	H29. 6. 16	H29. 6. 16~H31. 6
鳥居 富郎	(福)風祭の森 職員	H29. 6. 16	H29. 6. 16~H31. 6

- ・年度中に退任した委員（再任された者を除く） なし
- ・退任年月日 なし

### 5 評議員会開催状況

#### 第 58 回評議員会（6 月 16 日 7 名中 7 名出席）

- 議 案
- 1 社会福祉法人風祭の森定款の一部変更について
  - 2 平成 28 年度計算書類及び財産目録の承認について
  - 3 理事及び監事の報酬等の額について
  - 4 社会福祉法人風祭の森役員及び評議員の報酬等に関する規程の制定について
  - 5 理事 6 名の選任について
  - 6 監事 2 名の選任について

- 報告事項
- ・平成 28 年度事業報告の内容報告について
  - ・(仮称)開成町障害福祉サービス事業所整備事業について

第59回評議員会（11月29日7名中7名出席）

- 議案 1 社会福祉法人風祭の森定款の一部変更について  
2 平成29年度上半期決算報告案
- 報告事項 ・平成29年度上半期事業報告の内容報告について  
・役員及び評議員の賠償責任保険について

第60回評議員会（2月7日・みなし決議）

- 議案 1 社会福祉法人風祭の森定款の一部変更について

第61回評議員会（3月26日7名中7名出席）

- 報告事項 ・社会福祉法人風祭の森定款施行細則の制定について  
・平成29年度第一次補正予算  
・平成30年度事業計画  
・平成30年度予算  
・給食業務委託契約の締結について  
・神奈川県、保健福祉事務所の監査指導等の報告について

6 理事会開催状況

第81回理事会（5月31日6名中6名出席）

- 議案 1 社会福祉法人風祭の森定款の一部変更について  
2 平成28年度事業報告案  
3 平成28年度決算報告案  
4 理事及び監事の報酬等の額について  
5 社会福祉法人風祭の森役員及び評議員の報酬等に関する規程の制定について  
6 理事候補者の推薦について  
7 監事候補者の推薦について  
8 定時評議員会の招集について  
9 社会福祉法人風祭の森経理規程の一部改正について  
10 (仮称)開成町障害福祉サービス事業所整備工事請負契約の締結について

第82回理事会（6月16日6名中6名出席）

- 議案 1 理事長の選定について  
2 業務執行理事の選定について  
3 評議員選任・解任委員会委員の選定について

第 83 回理事会 (11 月 15 日 6 名中 5 名出席)

- 議 案
- 1 社会福祉法人風祭の森定款の一部変更について
  - 2 社会福祉法人風祭の森定款細則の制定について
  - 3 社会福祉法人風祭の森育児・介護休業規程の一部改正について
  - 4 運営規程 (6 規程) の一部改正について
    - (1) 太陽の門ヘルパーステーション (指定居宅介護事業、指定重度訪問介護事業) 運営規程
    - (2) 太陽の門ヘルパーステーション (指定同行援護事業) 運営規程
    - (3) 太陽の門相談室 (特定相談支援事業) 運営規程
    - (4) 太陽の門相談室 (指定障害児相談支援事業) 運営規程
    - (5) 太陽の門ヘルパーステーション (移動支援事業) 運営規程
    - (6) 太陽の門放課後等デイサービスセンター「きゃんぼす」運営規程
  - 5 平成 29 年度上半期事業報告案
  - 6 平成 29 年度上半期決算報告案
  - 7 専決処分の承認を求めることについて
  - 8 評議員会の招集について
- 報告事項
- ・ 理事長、常務理事の職務執行状況
  - ・ 開成町新規事業所について

第 84 回理事会 (1 月 30 日・みなし決議)

- 議 案
- 1 社会福祉法人風祭の森地域活動支援センターひまわり運営規程の制定について
  - 2 社会福祉法人風祭の森定款の一部変更について
  - 3 評議員会みなし決議 (決議の省略) に係る目的事項及び議案の決定について

第 85 回理事会 (3 月 16 日 6 名中 5 名出席)

- 議 案
- 1 社会福祉法人風祭の森定款施行細則の制定について
  - 2 社会福祉法人風祭の森常勤職員就業規則及び非常勤職員就業規則の一部改正について
  - 3 社会福祉法人風祭の森経理規程の一部改正について
  - 4 運営規程 (4 規程) の一部改正について
    - (1) 太陽の門重症心身障害児 (者) 施設 (指定療養介護事業) 運営規程

(2) 太陽の門重症心身障害児(者)施設(医療型障害児入所施設)運営規程

(3) 太陽の門ショートステイ(指定短期入所事業)運営規程

(4) 太陽の門放課後等デイサービスセンター「きゃんばす」運営規程

5 平成 29 年度第一次補正予算案

6 平成 30 年度事業計画案

7 平成 30 年度予算案

8 給食業務委託契約の締結について

9 評議員会の招集について

報告事項 ・ 理事長、常務理事の職務執行状況  
・ 神奈川県、保健福祉事務所の監査指導等

## 7 監事監査の状況

5月23日実施 指摘事項なし

11月9日実施 指摘事項なし

## 8 定款変更申請 なし

## 9 法人登記変更申請

(1) 資産総額の変更登記 (6月30日)

## 10 障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく実地監査・指導

平成 29 年 11 月 14 日実施 (県障害福祉課)

・ 実地監査 指摘事項なし

・ 実地指導 放課後等デイサービスの非常災害に関する具体的な計画を立ててください

改善報告 平成 30 年 1 月 12 日 既存の「太陽の門消防計画」の中に放課後等デイサービスを追加したことを報告しました。

## 11 医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査

平成 29 年 12 月 15 日実施 (小田原保健福祉事務所)

・ 指摘事項 看護師数について、法令で定められている員数を充足していませんので、改善してください。(標準員数 18 人、現員数 13.1 人)

改善報告 平成 30 年 3 月 22 日 人材紹介会社等各種媒体を活用し人材確保に努め、2 名の入職が決定しているほか、育休職員が復職す

ることや面接希望者がいることから、7月1日には完了する見込みであることを報告しました。

## 12 行政官庁認可等事項

### 事業所移転に伴う指定の改廃

太陽の門相談室 ・特定相談支援事業・障害児相談支援事業は小田原市から平成29年10月31日廃止承認を受け、同事業は、平成29年11月1日開成町から新規指定を受けました。

### 太陽の門ヘルパーステーション

- ・居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業は、県から平成29年10月31日廃止承認を受け、同事業は平成29年11月1日県から新たに新規指定を受けました。
- ・移動支援事業は、小田原市から平成29年10月31日廃止承認を受け、同事業は平成29年11月1日開成町から新規指定を受けました。

## 13 職員の状況

入職者 看護課長1名 生活支援課長1名 医師2名 薬剤師1名 看護師4名  
介護スタッフ4名 相談員3名 デイ看護師1名 デイ介護スタッフ4名  
ランドリー作業員1名 (計22名)

退職者 診療課長1名 看護課長1名 医師1名 薬剤師1名 看護師5名  
介護スタッフ6名 デイ看護師2名 デイ介護スタッフ3名 ランドリー作業員1名 (計21名)

## 14 職員配置状況 (平成30年4月1日現在)

・施設部	常勤	48名	非常勤	18名	嘱託	1名	計	67名
・地域支援部	常勤	19名	非常勤	6名	嘱託等	6名	計	31名
・事務部	常勤	5名	非常勤	5名	嘱託	1名	計	11名
・合計	常勤	72名	非常勤	29名	嘱託等	8名	計	109名

## 15 施設設備等の整備・保全

- ・日常清掃業務
- ・特別清掃業務(床面ワックス塗布、厨房内清掃等)
- ・保守点検業務(エレベーター、自動ドア、ボイラー等)
- ・放課後等デイサービス利用者送迎用ハイエース購入
- ・自動ドア修理
- ・薬局エアコン更新

- ・プレイホールガラス交換
- ・重心施設機械浴槽更新
- ・地域支援センター電話設備設置
- ・地域支援センター備品等整備
- ・薬剤全自動分割分包機設置
- ・ボイラー更新
- ・相談業務用車両購入

## 重症心身障害児（者）施設

### 1 利用者の在籍状況等について（平成 30 年 4 月 1 日現在）

- (1) 長期入所者 45 名（準超重心 9 名、その他 36 名）
- (2) 中期入所者 在宅重心児者が 1 か月程度の範囲で利用  
実人員 9 名 利用延べ日数 905 日（前年比 69.6%）
- (3) 短期入所者 在宅重心児者が休養等様々なで利用  
実人員 28 名 利用延べ日数 469 日（前年比 97.50%）

※平成 29 年度「月別入退所利用者状況及びベッド稼働率」 別紙資料【表 1～3】参照

### 2 利用者の健康管理について

#### (1) 健康診断など

日々の検温の他、排泄や食事量のチェックのほかに、定期的な血圧や体重の測定、血液・脳波・レントゲン検査を実施し、利用者の健康管理に努めています。

#### (2) 通院等

小田原市立病院（耳鼻科、循環器科、婦人科、内科）、山近病院（循環器科）、藤沢市民病院（眼科、循環器科）、戸沢皮膚科、永井婦人科、静岡てんかんセンターなど、他院通院は延べ 32 名で、専門医療の受診を行っています。

歯科についても、小田原二次歯科で治療や検査で延べ 19 名が受診しました。なお、平成 25 年度より依頼している訪問歯科での検診や歯石除去を行い、364 名が受診しました。

### 3 利用者の生活支援について

#### (1) 支援体制

医師、生活支援員、看護師による日々の申し送りや連絡、必要に応じてリハビリスタッフや栄養士などを交えた検討を行い、福祉と医療が連携した総合的な支援を



行っています。

特に、平成25年3月より2チーム（N側、S側）に生活支援と看護スタッフを分けて、利用者支援の役割と責任を明確にした支援体制により、スタッフの動きが機能的にして、きめ細かな介護・看護体制を維持しています。

## （2）個別支援計画

生活支援、看護、リハビリ、栄養の各分野から年度における個別支援計画を立案し、家族・後見人に対して個々に面談の場を設け、意見交換を実施して双方の合意を得た個別支援計画を立てました。

## （3）日中活動等

### ア 日中活動（別紙資料【表4】参照）

入浴日（火・木・土）以外の午前と午後の時間に、個別や集団による活動を実施しました。

主な活動としては、手遊び、水遊び、歌遊び、光遊び、シーツブランコ、マッサージ（リラクゼーション・ストレッチ）、アロマセラピー、壁面やポスター作り、絵本、お洒落タイム、エプロンシアター、散歩など、スタッフが創意工夫をした活動に努めました。

また、好みが合う利用者同士のクラブ活動も行っており、陶芸・コーヒー・デザートなどを楽しむ活動も行っています。普通食を召し上がっている方はお楽しみ昼食会として駅弁を購入し、普段と違った味わいを楽しみました。

活動の際には、個々の利用者の笑顔の写真を撮り、スタッフのメッセージを添えて、家族や後見人にお渡ししています。

この他、ボランティアによる音楽や紙芝居、個別支援などを実施し、日々の生活に変化を与えるよう心がけました。

### イ 行事等

毎月の誕生会、端午の節句、七夕祭り、アイスパーティー、そば打ち、秋祭り、焼き芋大会、クリスマス会、節分、ひなまつりなどの行事を行い、季節感を味わっていただきました。

また、毎月「替り風呂」を行い、血行促進や美肌効果がある緑茶、紅茶、檜の他、コーヒー、バラ湯、りんご湯などを行いました。

### ウ 外出（別紙資料【表5】参照）

利用者個々の目的に応じた外出も実施しました。

### エ 家族室を利用した小集団の活動（別紙資料【表6】参照）

食事や喫茶、光遊びやミニコンサートなどを3～4人の小集団でのお楽しみ

会を実施しました。ご家族が参加される時もあり、アットホームな余暇活動を実施しました。

#### 4 地域との交流

地元自治会が主催する盆踊りや箱根病院が実施した花火大会に参加した他、地元の神社の例大祭で神輿の巡航が2日間行われ、10月には恒例の当所「秋祭り」を開催し、地域の方々と利用者・職員の交流が行われました。

### リハビリセンター

理学療法士は、前年度は平成29年1月までは1名体制であったが、2月から2名体制になり今年度は当初から2名体制となっています。一方、作業療法士は、前年度は2名体制であったが今年度は年度当初から1名体制となっています。そのため理学療法については外来・入所リハビリ共に頻度を確保出来ましたが作業療法については外来・入所リハビリ共に大幅な減となっています。なお、平成30年2月から作業療法士が産休に入ったことによって、作業療法の実施はありません。

部署内においては、カンファレンスを月2~3回の頻度で定期的実施し、現在のリハビリ状況や今後の課題及び検討事項について相談し合える場を設け、リハビリ職員間の情報共有に努めました。

また、入所部門との連携のため、入所部門の職員から相談や要望を収集しやすくするために「リハビリ連絡ノート」を施設部に設置しました。さらに、月1回開催されている摂食指導講習会にはリハビリ職員も参加し、利用者の食事の状況把握・意見交換に努めました。

短期・中期利用者に関しても摂食やポジショニング等、ご家族・スタッフの要望や必要性に応じて適宜介入し対応してきました。

学校・施設職員等の見学は随時受け入れており、外来の様子などを実際に見学して頂き、その場で情報交換も行うことで各関連機関との連携を図りました。

#### 1 リハビリ外来

リハビリ外来利用者は、理学療法に74名(6歳未満4名・18歳未満40名・18歳以上30名)、作業療法に71名(6歳未満6名・18歳未満44名・18歳以上21名)が受診しています。新規受け入れは、理学療法6名、作業療法7名でした。

前年度と比較すると、理学療法は2916単位から3089単位と5.9%増となり、作業療法は3036単位から1629単位と大幅な減となっています。

## 2 入所者へのリハビリ

前年同期と比較すると、理学療法は 656 単位から 1754 単位と 2.6 倍となりましたが、作業療法は 1811 単位から 156 単位と大幅に減少しました。なお、個別介入の頻度は確保できていないが、入所スタッフからの相談や評価を適宜行うことで対応しました。また、介入時間の確保のため、1 週間の入所リハビリ予定の事前連絡や情報把握・予定確認を行い、利用者支援に関して相談があった場合にも支援・看護スタッフと連携して迅速な対応を心掛けてきました。

## 地域支援事業

### <デイサービス>

#### 1 利用者の状況（別紙資料【表 7】参照）

平成 29 年度末現在の利用契約者は、重症心身障害者 17 名、身体障害者 15 名、知的障害者 1 名となっています。

年間、253 日開所し、延べ 3582 名が利用しました。1 日平均 14.2 名となっています。前年度は 250 日開所し、延べ 3274 名利用、1 日平均 13.1 名でした。

#### 2 日中活動の状況（別紙資料【表 8】参照）

陶芸、園芸、スポーツ、制作活動、メイキャップ、光遊びの 6 つの活動を実施し、イベントとしてかき氷、焼き芋、クリスマス会を実施しました。

また、放課後等デイサービス「きゃんばす」と連携し、夏休み等の学校の長期休業日に学齢期の利用者との交流を図りました。特に春休み期間については平成 30 年 4 月より利用開始予定のきゃんばす利用者 2 名がスムーズに移行できるよう積極的に交流する機会を設けました。

### <ヘルパー事業>

#### 1 利用者の状況（別紙資料【表 9～11】参照）

平成 29 年度末現在の利用契約者は、障害児者 54 名（うち 5 名が新規契約者）にサービスを提供しました。（内訳：肢体不自由児 2 名、身体障害者 17 名、重心児 8 名、重心者 14 名、知的障害児 2 名、知的障害者 8 名、視覚障害者 2 名、精神障害者 1 名）

サービス内容は、居宅介護、移動支援、同行援護、日中一時、福祉有償運送となっています。

## 2 「あんしんヘルパーネット」

昨年度、県西圏域の各市町で支援の中核を担う居宅介護事業所のメンバーで構成

した「あんしんヘルパーネット」を設定し、あんしんヘルパーネット会議を開催しましたが、今年度は、平成 29 年 9 月 19 日に第 6 回あんしんヘルパーネット会議を開催し、行動障害により支援困難ケースへの理解を深め、サービス提供へ繋げるため、「行動障害のある方の理解～関わり方のポイント～」(講師：社会福祉法人唐池学園 貴志園 小川陽氏)を実施しました。

また、平成 30 年 3 月 16 日には第 7 回あんしんヘルパーネット会議を開催し、医療ケアを必要とされている方が、地域で安心して暮らせるために、関係機関の各事業所、各自治体等の相互理解や連携を図るため、「医療的ケア児者等の地域支援について」(講師：神奈川県立こども医療センター医師 星野陸夫氏 横田小児科医院 横田俊一郎氏、小田原市立病院看護部・地域連携室、アコモケア訪問看護ステーション 松木満里子氏、小田原保健福祉事務所 櫛恵美氏等)実践報告等意見交換を行いました。

## <相談室>

### 1 障害児者の障害福祉サービスの計画相談支援(別紙資料【表 12】参照)

計画相談支援事業は、平成 29 年度末現在 127 名(内訳：在宅 74 名・入所 53 名)と契約しています

計画相談支援 112 件、モニタリング 203 件、併せて 315 件行いました。これらの実施を通して、利用者の状況把握や必要な支援の提案、見直しを行い、利用者が安定した在宅生活を継続できるよう支援してきました。

### 2 出張相談の協力(綾瀬市より受託)

隔週の木曜日に綾瀬市の在宅福祉相談室の出張相談を行っています。計画相談におけるセルフプランの補助、また在宅の身体障害者の医療、福祉サービス等の調整、福祉用具・住宅整備等の支援など、福祉に関するあらゆる諸問題について対応しています。

### 3 在宅重症心身障害児者訪問(別紙資料【表 13】参照)

## <放課後等デイサービス「きゃんばす」>

### 1 利用者の状況について(別紙資料【表 14】参照)

平成 29 年度末現在の利用契約者は、小田原市 14 名・南足柄市 3 名・箱根町 1 名・大井町 1 名・開成町 1 名となっています。(対象は重症心身障害児)年間、248 日開所し、延べ 1262 名が利用しました。1 日平均 5.0 名となっています。

## 2 日中活動の状況（別紙資料【表 15】参照）

利用者の発達段階、障害特性に応じた個別活動、集団活動を行いました。

また、年度末より地域の特産品(寄木などの木工品、かまぼこ、梅干など)に親しむ活動として‘こゆるぎ活動’を始めました。

夏休み等の学校の長期休業日には、成人デイサービス利用者との交流も図り、各利用者のご家族をお誘いし、ご両親やきょうだい、祖父母が集まれる機会を提供し活動に参加していただきました。

## <地域活動支援センター事業>

### 1 利用者の状況（別紙資料【表 16】参照）

平成 29 年 12 月から事業を開始し、平成 29 年度末現在の登録者数は、南足柄市 9 名・開成町 4 名・大井町 2 名・山北町 2 名計 17 名となっています。精神障害者が 10 名と大半を占めています。

年度末までに 80 日開所し、延べ 246 名が利用しました。1 日平均 3.6 名となっています。

### 2 日中活動（別紙資料【表 17】参照）

生活リズムを整える外出機会、ピアサポートの場、福祉サービス等に関する情報収集の機会等のニーズに対応して、創作活動、パソコン講座、書道、運動プログラム等を実施しました。

## 栄 養 管 理

### （1）給食管理業務

利用者及び職員の健康増進と、嗜好や季節感に配慮した食事提供に努めました。

ア 月 1 回の行事食・お誕生日ケーキでは毎月のテーマに沿った内容を検討し、イベント性のあるメニューを考案しました。

イ 1 ヶ月ごとのサイクルメニューは毎月見直しを行い、給与栄養量の評価と喫食者の意見を反映し、積極的に新しいメニューを取り入れ、内容の充実化を図りました。

ウ 季節ごとに旬の食材を取り入れ、季節の感じられる食事提供に努めました。

エ 毎月、アンケートへの記載内容について給食委員会で公表し、意見や要望については委員会メンバーや委託給食会社と対策を検討しました。

## (2) 栄養管理業務

定期的な病棟訪問や他職種との連携により、適切な栄養評価および管理を行い、利用者の入院時食事療養の推進に努めました。

ア 入所者の栄養ケア計画書を作成し、個別支援面談においてご家族へ栄養管理計画の説明をしました。(3月)

イ 入所者の栄養スクリーニングと栄養管理計画書を毎月見直し、作成しました。

ウ 栄養や食形態などについて、他職種と適宜カンファレンス・打ち合せ等を行い、入所者個人の健康状態や嚥下機能に応じた食事を検討しました。

## (3) 施設設備・衛生管理業務

衛生管理の徹底を図り、安心・安全な食事提供に努めました。

ア 委託給食会社と連携し、事故のないよう食事提供について指導を行いました。

イ 定例の厨房内環境調査により、厨房の衛生状態について検査をしました(6月・12月)

## (4) その他

ア 委託給食会社との契約が本年度をもって満期となったため、次期の業者選定を行い、決定後に業務委託契約の締結を行いました。

イ 約束食事箋の内容について見直しを行い、平成29年度版を作成しました。

ウ ヴィエントギャラリーで、給食部門の担当月に掲示物を作成し、行事食等の紹介を行いました。(6月)

エ 摂食嚥下リハビリテーション学会へ参加をし、参加団体による研究発表や事例発表などから、当施設の栄養管理に活かせる新たな知識や情報を得ました。また、この他にも、研修会への参加や専門書の購読等により、専門職としての知識・技術の向上に努めました。

# 薬 局

## (1) 医薬品の適正管理及び安全管理について

- ア 週1回程度、医薬品の在庫数を確認し、発注作業を行い不足薬が出ないように努めました。
- イ 採用薬品の過剰在庫、使用期限切れを防ぐため、小包装へ包装単位の変更を行いました。
- ウ 有効期限切れ薬品は〔採用中止〕〔在庫無し〕〔採用継続〕の中から医師より指示を仰ぐ事によって不必要な在庫を減らし必要な薬品の適正管理に努めました。
- エ 医薬品の在庫量を把握するため、棚卸しを行いました。

実施日	9/29	3/30
在庫品目数	215	206
在庫合計額（薬価換算）	2,091,789円	1,339,865円

- オ 医薬品等の使用期限の調査を実施いたしました。（実施月：8月）
- カ 医薬品の品質が保持できるよう管理方法等について再確認し、医師、看護職員に提言し、処方内容、管理方法について検討していただきました。
- キ 医薬品安全管理について、全職員を対象に研修会を行い、医薬品とその安全管理についての知識を得てもらうよう努めました。（平成30年3月7日開催）

(2) 入所者の適正な疾病治療の補助について

- ア 入所者の特性に応じて、看護職員の適正な情報を基に、医師の処方計画に提言関与して、処方指示に従い、適正な疾病治療の補助に努めました。
- イ 入所者の服薬コンプライアンス向上と薬の効果を上げるため、医師の処方計画に提言関与して、処方指示に従い、適正な疾病治療の補助に努めました。（処方変更：3名）

(3) 主に医療に関する情報収集・提供について

- ア 随時、医療情報誌・公文書・メーカー通達書類等に目を通し、情報を収集し、特に重要と思われるものに関しては、他の医療従事者と情報を共有しました。（文書回覧回数：35回）
- イ 薬剤師会、製薬会社等が開催する勉強会に出席し、薬学や医療に関する知識を習得しました。

(4) 短期・中期利用者の持参薬の適正対応について

- ア 短期・中期利用者の入所時の面談に立ち会い、看護課と連携して持参薬の管理を行いました。